

**博報堂D Yホールディングス、株式会社アドインテと資本業務提携
～AIBeaconを活用した生活動線系メディアの付加価値化に関する研究を開始～**

株式会社博報堂D Yホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一、以下博報堂D Yホールディングス）は、AIBeaconにより取得した屋外行動データを活用し、生活動線系メディアを付加価値化することを目的に、株式会社アドインテ（京都府京都市、代表取締役社長：十河慎治、以下アドインテ）の株式を取得し、資本業務提携を行いました。

アドインテが独自開発したセンサ端末「AIBeacon」は、従来の Beacon 端末の機能に加えて、Wi-Fi によるアクセス情報を匿名状態で取得・蓄積することができるため、専用アプリ不要でより簡便に屋外行動データを取得することができる機能を備えています。

近年、デジタル化が加速し、様々な分野で IoT 化が進む中、交通機関や商業施設・店舗などの生活動線上の情報接点の存在感が高まってきており、このような生活動線系メディアでのマーケティング活動や屋外行動データの利活用が今後ますます重要になると考えられます。

今回の資本業務提携により、両社は共同で AIBeacon に関するシステム、データ、ネットワーク等の研究を進め、生活動線系メディアの接触状況の可視化やモバイルメディアも活用したリアルリターゲティングなどのテクノロジーサービスを開発することにより、生活動線系メディアの付加価値化を目指します。

今後の研究およびテクノロジーサービスの開発においては、博報堂D Yグループ「デジタルロケーションメディア・ビジネスセンター」(※1)と連携していきます。

※1（ご参考）

生活動線起点のメディアビジネス開発を支援するグループ横断型組織 博報堂D Yグループ「デジタルロケーションメディア・ビジネスセンター」を新設、第一弾として「移動する生活者調査」を実施(2017/12/12)

<https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/corporate/2017/12/1502.html>

なお、本取り組みは、“生活者データ・ドリブン”マーケティング対応力の強化の一環であり、上記の観点も含め、引き続き、生活者 DMP(※2)を強化するなど、サービス提供体制の強化を図ってまいります。

※2（ご参考）

当社グループがこれまで蓄積してきた独自の「生活者データ」に加え、デジタルテクノロジーの進化によって入手可能となった「リアルタイム・365 日の生活者による情報行動や購買行動のデータ」「メディアやコンテンツなどの接触・嗜好データ」と「先端テクノロジー」を掛け合わせて開発している、あらゆるマーケティング活動を計画・実行・管理する上での基盤となるもの。

【株式会社アドインテの概要】

社名 : 株式会社アドインテ
本社所在地 : 京都府京都市下京区新町通四条下る四条町 347-1 CUBE 西烏丸 9F
設立 : 2009年4月
代表者 : 代表取締役 十河 慎治
従業員数 : 61名
事業内容 : AIBeacon 事業、サインージソリューション事業、DMP・DSP 事業

■ AIBeacon について

AIBeacon は、独自のデータマイニング技術を使用したスマートセンサ機器です。従来の Beacon 端末と同様の情報プッシュ送信だけでなく、Wi-Fi によるアクセス情報を匿名状態で取得・蓄積することができます。それにより、生活者へ最適なタイミングで情報提供をすることが可能となり、生活者の利便性を高めることができます。

■ 博報堂 D Y グループ「デジタルロケーションメディア・ビジネスセンター」について

屋外・交通広告や、折込・DM、インスタメディアなどのデジタル化にとまない新たに生成されるメディアビジネス領域等を専門とした、博報堂 D Y グループ 12 社のメンバーにて構成。
リーダー : 佐藤智施
メンバー : 44 名 (2018 年 9 月現在)



HAKUHODO DY GROUP
DIGITAL
LOCATION
MEDIA
BUSINESS
CENTER

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 D Y ホールディングス 広報・IR 室 江渡

03-6441-9062